



相ノ木っ子だより



令和7年度
7月号
上市町立
相ノ木小学校

教育委員訪問

6月17日（火）に、町の教育委員訪問があり、教育長さんをはじめ教育委員さんや教育委員会の方が、2時間目に全クラスを参観していかれました。また、いきいきタイムには、教室でけん玉や縄跳びをする子供たちの様子も見ていただきました。

その後、会議室でお話を伺いました。教育委員さんからは、「どの授業も、子供たちも先生方も笑顔で楽しそうに学んでいる姿がよい」「一般的に高学年になると手を挙げる子が少なくなるが、相ノ木の子供たちはほとんどの子が手を挙げているのもすばらしい」と言っておられました。今年度は「関わり」をキーワードの一つとして、職員も子供たちも楽しくワクワクするような活動を、どんどん取り入れてほしいと投げかけてきました。大人も子供も、学びを楽しむという意識が感じられ「学校全体に一体感がある」と言われた方もおられました。教育長さんは、「自分が小学生だったら、ぜひこの学校で学びたいと思った」と言ってくださり、うれしく感じました。これも教職員や子供たち、そして保護者や地域の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。



行事で伸びる相ノ木っ子

6月半ばからは、梅雨の時期にもかかわらず、夏真っ盛りのような暑い日が続きました。7月に入ると、梅雨が明けてもいないのに蒸し暑い日があったり、そうかと思うと急に豪雨になったりする日が続いています。そんな中ですが、6月半ばから、いろいろな学年で校外学習が行われています。

6月12日、13日の宿泊学習で、5・6年生は、森の小屋づくりや野外炊飯、キャンプファイヤーを楽しみ、二日目は励まし合いながら来拝山に登り、友達との絆を深めました。

また、6月24日には3年生が池田模範堂に、26日には6年生が埋蔵文化財センターで勾玉づくりに取り組みました。30日には4年生がクリーンセンターに、5年生がグループホーム逢の希へ出かけて七夕の短冊を付けたり、縄跳びやけん玉を披露したりしました。7月4日には5年生がこんには訪問で一人暮らしのお年寄りの方にプレゼントを渡してきました。

そして7月11日には、相ノ木伝統の相撲大会が行われました。たくさん保護者や地域の方々の声援を受けて、子供たち一人一人が、精一杯頑張った大会でした。力を発揮できた子も、少し残念だった子も、この経験を次に生かして行ってほしいものです。



「国語の力」は家庭環境が土台

もうすぐ夏休みです。学級担任をしていたころ、夏休み前の個別懇談会で、保護者の方からよく、「国語の成績がなかなか伸びなくて…。どうすればいいですか？」という相談を受けました。一応、自分の専門として長く携わってきた教科なのですが、これをやれば必ず伸びるという具体的な方法は、よく分からないというのが正直なところでしょうか。ただ、国語の成績は「他の教科に比べてかなり長期間続けないと伸びない」「一度身につけば、努力しなくても下がらない」ということは言えるでしょうか。数学や理科社会のように、問題をたくさん解いても、同じ問題が出ることはありませんし、テスト勉強といっても漢字や文法の復習くらいしかできないことが多いと思います。先日、この国語力に関するネット記事を見つけたので、以下に引用します。

★「国語力」は小学生の全教科の土台！

「うちの子、勉強しているのになかなか成績が伸びなくて…」もしかしたら、「国語力不足」がその原因ではないでしょうか？では、国語力とはどのようにして身に付けさせればいいのでしょうか？

そこで今回は、作文・読書・思考力・野外体験を主軸にした学習塾「花まる学習塾」の代表である高濱正伸さんの『小学生の全教科の成績がアップ！国語の力は親で決まる』（カンゼン）を抜粋してご紹介します。

すべての学力の基礎になる国語力ですが、この国語力を伸ばすカギは家庭環境にあると私は見ています。学校より家庭での影響の方が大きいのです。具体的に言うと、親御さんが子どもに対する接し方に配慮すると、子どもの国語力は大きく伸びるということです。

そう考えるようになった最初のきっかけは、私が中学3年生を教えていたときに、子どもたちに、「お父さん、お母さんは本を読む人ですか？」と聞いてみたことです。子どもたちはそれぞれ、「とてもよく読む」、「ときどき読む」、「全然読まない」というふうに答えてくれたのですが、その答えと子どもの国語力が正比例していたのです。「とてもよく読む」と答えた子どもたちはみんな国語の成績がいいのです。そのとき、決定的に、「国語の決め手は家庭文化だったんだ！」と気づきました。

現代は、共働きをする家庭が増えています。そのなかで、学校の教育によって国語力を伸ばすことに期待する向きはあります。私自身も、まだまだ学校でやれることはたくさんあると思っています。ただ、やはり子どもの国語力の根底にあるのは家庭の言葉であり、家庭の文化というものは、その子の人生を大きく規定することは今後も変わらないでしょう。そういう現実がある以上は、子どもの国語力は家庭でしっかりと育むことを考えないといけません。もちろん、両親が共働きの場合、家庭における会話の量などは、どうしても減ってしまう傾向はあるのかもしれませんが。

『家庭の三声』と言って、家庭の口頭の会話は非常に大事だと言われています。

これは、「日本のモンテッソーリ」といわれる道灌山幼稚園の高橋系吾さんという方が著書に書かれたことで、一時期、流行しました。この『家庭の三声』とは、笑い声、話し声、歌声を指しています。豊かに言葉が交わされている家庭では子どもがすくすくと育つ、ということを高橋系吾さんは言っています。人生を自分のものとして引き寄せて、正しい言葉をしっかりと使うことで、正しく生きていけるよ、というニュアンスの話だと思います。共働きの家庭が増えているのだとしても、『家庭の三声』が確保されているならば、子どもにとって好ましい環境であるということが言えます。

この長い夏休み、子供たちと過ごす時間も増えると思います。この、「家庭の三声」を意識して、子供たちの国語力アップを図ってみたいはいかがでしょうか。今年の夏は去年以上に暑いという予報もあります。熱中症に十分注意して健康に過ごし、2学期に元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。

行事予定(7月中旬～9月中旬)

7月15日(火)～17日(木) 個別懇談会

全校 13:20 下校

18日(金) 全校5限後放課

21日(月) 祝海の日

22日(火) 団体鑑賞(落語)

全校 15:20 下校

23日(水) 地区児童会 集団下校 14:00

こども110番の家訪問

24日(木) 第1学期終業式 下校 13:45

25日(金) 6年親子ふれあい立山登山

8月 5日(火) BFC 施設見学

7日(木) 人権を考えるこどもの集い

11日(月) 祝山の日

12日(火)～15日(金) 学校閉庁

8月22日(金)

24日(日)

9月 1日(月)

5日(金)

6日(土)

8日(月)

9日(火)

10日(水)

11日(木)

12日(金)

15日(月)

18日(木)

全校登校日

親子奉仕活動

第2学期始業式

全校 13:20 下校

PTA 全体理事会 19:00

5.6年水泳教室

町科学展(～9/9)

学校訪問研修会 全校 13:20 下校

運動会結団式

3.4年水泳教室

5年校外学習(常願寺川)

1.2年水泳教室

祝敬老の日

3年ふるさと学習

